



# 田村市立都路中学校

## 学校だより 第29号

令和6年11月29日(金)  
発行責任者：校長 佐藤 仁  
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

### 「今」を大切に生きる

生徒の皆さんに質問です。

定期テストの結果はどうだったでしょうか。納得のいく結果でしたか。悔いは残っていませんか。

3年生にとって残された中学校生活は約4ヶ月、2年生にとっては約1年4ヶ月、1年生にとっては約2年4ヶ月です。「光陰矢のごとし」とはよく言ったもので、本当に時間が過ぎるのは早いです。残された中学校時代をどう過ごすか。どう過ごしたいか。どう過ごさなければならないか。学年によってはもちろんですが、掲げている目標によって違ってくるはずです。

生徒の皆さんに、この週末の予定について質問です。

- テレビは見ますか。(何時間?)
- SNSは利用しますか。(何時間?)
- ゲームはしますか。(何時間?)



テレビやSNS、ゲームはあなたの夢や目標の達成のために役立ちますか。それとも無駄ですか。テレビやゲーム、SNSを全面的に否定しているわけではありません。できる限り無駄な時間を捨て、目標達成のために本当にやらなければならないことを直視し、限りある時間を大切にしてほしいと思います。

「本当に達成したい目標」や「夢」、「本当にやりたいこと」のリストを書いてみましょう。自分が進むべき方向が見えてきます。やらなければならないことがはっきりしてきます。

- 高校 ◆◆科に入学し、△△をしたい。
- 来年の中体連支部(県)大会で優勝したい。
- 将来は海外に住みたい。
- 将来、都路のために役に立つ人材になりたい。
- プロのアスリートになりたい。
- 世界を旅したい。
- 貧しい国の人々の役に立てるような人になりたい。 etc

達成したい夢や目標があるから頑張れる。すんなり達成できるものもあれば、挫折や失敗を繰り返しようやくたどり着けるものもある。いずれにせよ、人生の中で「青春」と言われる時間には限りがあります。無駄なことに時間を費やしてはもったいなさ過ぎます。

卒業式当日、中学校時代を振り返った時に「悔いのない中学校時代だった」と思えるように、大人になった時、思う存分人生を謳歌するために、「今」を大切にしましょう。過去の延長線上に「今」があり、「今」の延長線上に未来があります。変えられるのは「今」だけです。今をどう生きるかで、未来を変えられます。変えることができない過去さえ、違う視点でとらえることができるかもしれません。

どうしたら「今」を大切にできるか。生活習慣を変えることです。定期テストが終わって、少しほっとしている今だからこそ、これまでの生活習慣を振り返ってみましょう。無駄な時間を少しでもなくす努力をしましょう。目標達成や将来やりたいことのために、脇目もふらず一つのことにとことんのめり込むことができるのも青春時代の特権です。

繰り返しになりますが、青春時代は短いです。あっという間に過ぎていきます。一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。



未来がどうなるのか、自分自身でもわからない。ドラえもんのタイムマシンがあったらいいな、と何度思ったことだろう。大切なのは過去でもなく、未来でもなく、今この瞬間なのだ。今何をするのか、何ができるのか。だから悩むのではなく考えながらやってみるのだ。その繰り返しが過去という道になり、その過去たちが先を行く私を静かに見守り、ずっと応援し続けてくれているのだ。

(11月25日 福島民報 「民報サロンから」)